

番号	6 - 14	申請者	看護師 友添 光咲
<p>【審査申請課題】</p> <p>病棟経験年数の少ない看護師が患者を理解するまでのプロセス</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>A病棟では超・準重症児が7割、人工呼吸器装着患者が6割入所しており、より高い看護スキルが必要である。しかし、病棟経験年数3年以下の看護師が現在6割を占めており、患者の生活歴を知る者が少なくなっている。新たに異動してきた看護師にとって患者理解をするまでに時間がかかり、その結果ケアへの戸惑いや困難感があり、十分なケアや患者との関わりが出来ていない現状がみられる。</p> <p>重心看護における先行研究により、経験豊富な看護師は重心看護における不安や戸惑いを解消し、看護が出来ていると考える。しかし、経験年数の短い看護師がどのように不安や戸惑いを解消していき、患者理解を深めているかは明らかになっていない。そのため、経験年数の短い看護師がどのようにして不安や戸惑いを解消したか明らかにすることで、患者理解を深める過程に繋がり、よりよいケアへの提供につながると考える。</p>			
審査結果	承認 (令和7年2月28日)		